

合理性だけが発達した人間は、どのように扱われるのでしょうか？

「扱われるのでしょうか？」を中心とした疑問文と、その答えである「排除されてしまうのです」を中心とした文が続いています。2つの文をそれぞれ訳出していきます。

A. 人間は、どのように扱われるのでしょうか？

まず述語です。日本語をヒントに、

▪ S is treated

をベースにしていきます。「でしょう」があるので、**S will be treated** になります。また、実際には「合理性だけが発達した人間」は存在しないので、その扱い方があったとしても現実ではない話です。**【現実ではない】**場合、述語を仮定法にしますよね。なので **S would be treated** から作ります。**【扱われる対象】**である **S** は「人間」です。human beings を入れます。

(1) human beings would be treated

どのように

そして方法・様子を尋ねている**【どのように】**は **how** です。疑問詞は文の先頭に置かれ、それに従って、助動詞を主語の前に持ってくるので、次のような形になります。

(2) How would human beings be treated?

B. 合理性だけが発達した

「人間」を修飾する、**関係詞(S)(V)**を作ります。「発達」とくれば、

- **S develop A 「S は A を発達させる」**

という用法があります。これを利用します。

- **S develop 「S は発達する」**

という用法もあります。これを用いてもいいのですが、これに飛びつくと、ちょっと遠回りになったはずです。いかに遠回りになるかの説明は、ここでは割愛させていただきます。）

【発達させた主体】である **S** は **human beings** です。先行詞と同じなので、ここを **who** に変えて関係詞にします。**【発達させる対象】**である **A** は「合理性」です。**【一般的な合理性】**ではなく、**【人間が使う合理性】**なので **their rationality** にします。

(3) **who develop their nationality**

「だけ」を **only** で丁寧に拾い、**【発達した】**で表されている、完了っぽさを表すと次のようになります。

(4) **who have developed only their rationality**

C. A. + B.

これを(4) **who have developed only their rationality** を(1)につなげると、前半の文が出来上がります。

- (5) **How would human beings who have developed only their rationality be treated?**

最後に文の構造が分かりやすくなるためのちょっとした操作を一つ。これだけ主語が長いと、述語の所在を把握するのに、読み手に負担をかけてしまうかもしれないと思い、(4)の部分を、**treated** の後ろに持ってくることにしました。

- (6) **How would human beings be treated who have developed only their rationality?**

これは、大学受験の解答としては実行しなくてもいいレベルだと思いますが、みんながこれからより良い英語を書けるように、お見せしました。

彼らは、異質なものとして人間社会からは排除されてしまうのです。

述語は「排除されてしまうのです」に当たる部分を英語にすると便利だと思いました。

A. 彼らは排除されてしまうのです。

「排除」という言葉から、

▪ S is excluded 「Sは除外される」

を基盤にするといいと思いました。「てしまう」の部分が若干気になりますが、これは【完了】を表しているわけではありません。【マイナスなことにはまってしまった】感じがします。そこまでのニュアンスは、今までみんなが習ってきた中でも、なかなか英語で表現できなかったと思います。文意も大きく変わらないだろうという判断をし、思い切って無視します。そして、この文は、「合理性だけが～扱われるのでしょうか？」に引き続き、【あり得ないこと】について述べています。なので、仮定法を使うために、**S would be excluded** にします。最後に【排除される対象】である **S** には「彼ら」を参考にして **they** を入れます。

(6) they would be excluded

B. 人間社会からは

修飾表現なので、つなぎの語句から探します。末尾を見てみると「からは」があります。

- from A 「A から」

が使えるそうです。

A に該当するのは、ここでは「人間社会」です。端的には **human society** ですが、この部分以前に **human beings** を出したので、わざわざ **human society** にしないほうが文章として洗練されている気がします。 **the society / their society / the society of human beings** もいけると思います。

(7) from human society

C. 異質なものとして

末尾の「として」に着目すると、

- as A 「Aとして」

は発想しやすいかと思います。

A には「異質なもの」が入ります。「もの」は **things** を使ってもいいともいますが、ここでは **something** を使います。「異質な」は【**同じではない**】というイメージです。**different**、**foreign**、**alien** が使えそうです。ここでは2番目のものを使います。

(8) **as something foreign**

D. A. + B. + C.

最後に(7) **from human society** と(8) **as something foreign** を(6) **they would be excluded** の後ろにつけます。

(9) **They would be excluded from human society as something foreign.**

Model Answer

How would human beings be treated who have developed only their rationality? They would be excluded from human society as something foreign.